

(様式3)

職員番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

この間は勤務箇所及び職務内容等の欄に記入する。(例:無職(予備校在学))

在職期間とずれが生じないように、入学、卒業年を正しく記入する。

令和 年 月 日 採用				区分(人事担当課が○で囲む) 正規・任期付()・臨時的				
フリガナ 氏名	フジマ ハナコ 福島 花子	性別	女	生年月日	昭和 4年 11月 21日 平成	所属名	コード	職名
卒業学校名 (中学校から)		在学期間	修学年数	卒業修了 中退の別		給料表	行政職・教育職・研究職・医療職(二)・医療職(三)・技労職 小中教育職・高校教育職・事務職・医療職	
郡山市立安積中学校		自 H17.4.1 至 H20.3.31	3・0	卒修退		最終学歴	博士・修士・専門職学位・6年制大学・大学専攻科・4年制大学・3年制短大 8年制短大・1年制短大・高校専攻科・3年制高校・2年制高校・中学	
福島県立安積高等学校		自 H20.4.1 至 H23.3.31	3・0	卒修退		勤務歴がある場合、社会保険加入の有無に必ず○を付ける。		
福島大学 人間発達文化学類		自 H24.4.1 至 H28.3.31	4・0	卒修退		民間会社等の場合、会社の形態、採用形態、 週当たりの勤務日数、一日当たりの勤務時間数 及び職務内容を記入する。		
大学中退の場合は、年度ごとに取得単位数を ()書きで記入する。		自 至	.	卒修退		基準学歴修学年数 修学年数調整 月) = (土 年 月) 2.5割 計		
勤務箇所及び職務内容等		社会保険 加入の有無	在職期間	年数	換算率	の換算		
無職(予備校在学)		有 無	自 H23.4.1 至 H24.3.31	.	.	非常勤講師(月手当)の場合、週当たり勤務日数及び授業担当時間数 を記入する。 (授業を行わない非常勤職員は、職名及び週当たり勤務時間数を記入)		
郡山商事(有)、正規採用、週5日、1日8時間勤務、職務内容(事務)		有 無	自 H28.4.1 至 R1.5.31	.	.	時間講師の場合、週当たり勤務日数、週当たりの勤務時間数 及び授業担当時間数を記入する。		
全日本進学塾(個人)、臨時採用、週3日、1日5時間勤務、 職務内容(講師)		有 無	自 R1.6.1 至 R2.3.31	.	.	必要経験年数 年 月)		
〇〇県立〇〇高等学校、非常勤講師(月手当)(初任研)、 週当たり4日勤務、授業担当時間数18時間		有 無	自 R2.4.1 至 R3.3.30	.	.	調整対象年数 = (年 月) ※正規の在学年数として換算した 10割の期間は除く (年 月) × 5/5 = (年 月) ...a (年 月) × 4/5 = (年 月) ...b (年 月) × 2/3 = (年 月) ...c		
無職		有 無	自 R3.3.31 至 R3.3.31	.	.	級及び号給の記入は不要。		
〇〇県立〇〇高等学校、時間講師(初任研)、週当たり4日勤務、 週当たり18時間勤務、授業担当時間数14時間		有 無	自 R3.4.1 至 R4.3.30	.	.	換算率10割の年数 規則第13条調整年月数 (年 月) - (年 月) = (年 月)		
無職		有 無	自 R4.3.31 至 R4.9.30	.	.	調整 号給数 修学年数調整(規則第12条) (×4) + (÷3) = (号給) 経験年数調整(規則第13条) (×4) + (÷3) = (号給)		
〇〇県立〇〇高等学校、常勤講師(欠員補充)(1-△号給)		有 無	自 R4.10.1 至 R8.3.31	.	.	決定 級号給 初任給基準表による級号給 (級 号給) 決定する級号給 (級 号給)		
受験種別(教科)及び受験番号を記入する。		署名する。		記入枚数について、○枚中○枚目を記入する。		給料表()		
上記のとおり相違ありません。		令和 年 月 日 氏名(自署)		級 号給		採用前経験年月数 採用前調整年月数 決定者印		
受験種別・教科	.	受験番号	.	(枚中 枚目)	採用CD	採用年月日	基準学歴	最終学歴
職・格付	発令年月日	採用年月日	基準学歴	最終学歴	職・格付	発令年月日	採用年月日	基準学歴